

第3回 8月 センター試験本番レベル模試

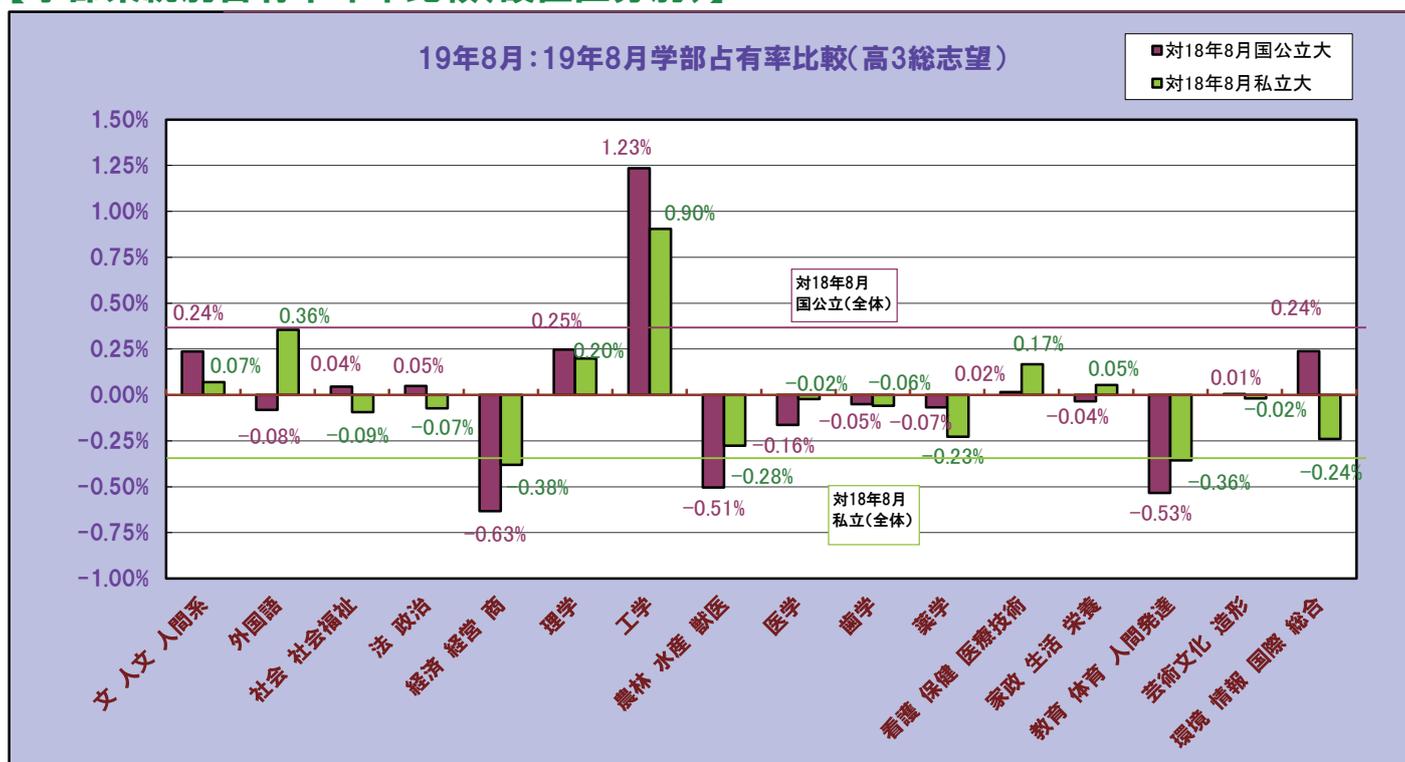
夏休み、終了。 この頑張りを結果に結びつける学習を！

8月25日（日）に実施した「第3回 8月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

「受験の天王山」とも言われる夏休みの学習の成果は、より実践的な学習を積むことで、秋以降の得点の伸びに大きな影響を与える。

今回の模試で間違えた問題、あいまいだった知識をしっかりと復習し、実りの秋に向けてモチベーションを保ちながら、引き続き受験勉強に取り組もう。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	104	101	101
外国語	94	115	109
社会・社会福祉	103	99	99
法・政治	101	99	99
経済・経営・商	97	99	99
理学	104	105	104
工学	105	106	105
農林・水産・獣医	92	89	91
医学	98	99	98
歯学	92	88	90
薬学	98	93	95
看護・保健・医療技術	100	103	102
家政・生活・栄養	96	103	101
教育・体育・人間発達	94	94	94
芸術文化・造形	101	98	99
環境・情報・国際・総合	104	96	99

■国公立大

理学系、工学系の人気が復調しており、2019年度入試で見られた「文高理低」の収束感は2020年度も継続する模様。

一方で、文系の学部系統も堅調な人気を保っているが、資格取得系の学部系統は軒並み志望者数を減らしている。

■私立大

国公立大学と同様、理学系、工学系の人気が高いが、国公立大学と異なり、資格取得系も人気を集めている。

一方で、近年人気の高かった環境・情報・国際・総合系の志望者数が減少している。

社会科学系は高止まりの状況。

※このデータは、2019年と2018年の「第3回 8月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分(国公立・私立)ごとに学部系統別の総志望者数(統一実施日受験の高3生・第6志望まで)から算出した割合を比較したものである。